

VII メンテナンス工程

作業手順（作業名）	危険性又は有害性と発生のおそれのある災害
<取鍋補修・乾燥作業>	
補修取鍋準備作業	所定の場所へ取鍋を荷役運搬車及びホイストクレーン等で移動中、落下した取鍋にはさまれる。
ノロ・地金ハツリ作業	ハツリ治具（振動・重量物）取扱いによる腰痛。
	取鍋内へ昇降進入時に墜落（落下）する。
	取鍋内での作業時の手元・足元への治具直撃による骨折及び裂傷。
	粉じん発生によるじん肺。
取鍋内補修作業	ライニング材及びランマーを取鍋内に準備時の重量物扱いによる腰痛。
	取鍋内へ昇降進入時に墜落（落下）する。
	ライニング材突き固め時の手元・足元等への襲撃による骨折及び裂傷。
乾燥作業	バーナー・ヒーター等による所定時間の乾燥によって周囲の可燃物が燃え火災になる。
	バーナー乾燥時配管系の取扱い配管系もれによって引火火災が起こる。
<非定常作業> （設備点検作業全般）	
設備機械点検作業 （機器休止時及び機器稼動中）	機器点検開始前のミーティングが徹底されていなかったため、設備機器の稼動によってはさまれる。
	感電防止用の保護具の着装がされていなかったため感電する。
	高所作業時に点検用具・工具・測定具が落下し、付近の作業者に当り負傷する。
	点検作業中の表示がされた設備機器の電源を入れたため、機器が稼動し、点検作業者がはさまれる。
<コンベヤー 全般点検>	
点検作業前の確認 ポイント	動力伝導部位に覆い又は囲いが無いため、コンベヤーに巻き込まれる。
	ベルト・プーリー・ローラー・チェーン・チェーンレール・スクリュウ等に覆い又は囲いが無いため、コンベヤーに巻き込まれる。
	コンベヤーの起動又は停止のためのスイッチが明確に表示されておらず、且つ容易に操作できないため、コンベヤーに巻き込まれる。
	起動スイッチが接触、振動により不意に起動したため、コンベヤーに巻き込まれる。
	コンベヤーに取り付けてあるプラットホーム及びその歩道の床面につまずき、滑る。
	プラットホームの歩道幅が60cm以上確保されていないため、コンベヤーに巻き込まれる。
	プラットホームの歩道に、高さが90cm以上で中さん付き手摺が常設されていないため、墜落する。
	コンベヤーに非常停止スイッチが常設していないため、コンベヤーに巻き込まれる。